

原田 讓 展 定窯白瓷 恭敬  
二〇一七年三月四日(土) ~ 十二日(日) 会期中無休



GALLERY  
うつわノート

定窯写白瓷印花鳳紋皿  
径248mm 高さ28mm

料金後納  
ゆうメール

原田譲さんは茨城県城里町で、約千年前の中国「定窯」で焼かれた白瓷を本歌とする器を作っています。器胎は薄く緊張感のあるフォルム、牙白色と呼ばれる柔和な白、その多くに吉祥とされる花や動物が描かれ、幸福・繁栄・長寿などの願いが籠められていました。

中国白瓷の歴史は古く、8世紀末には既に本格的なものが作られています。それは日本で磁器焼成が成功する千年も前のこと。英語で陶磁器をチャイナと呼ぶように、その歴史の奥深さは世界の共通認識です。中国陶磁史を代表する青磁・天目・青花など日本の茶の湯に大きな影響を与えた器と同様に、白瓷もまたその清廉な姿が日本人の憧れとなってきました。

原田さんは、中国白瓷の中でも特に、晩唐から北宋時代の「定窯」の器に魅せられています。その気高く峻厳な姿は、今も白瓷の最高峰とされ、外形的な徹底性と内面的な思索性への憧れが、原田さんが作る器の根幹となっています。その器は暮らしの中であって襟を正すような存在。緩慢な日常の流れに、凜とした空気をもたらします。

弊社三回目となる個展、あらためて定窯白瓷への恭敬をもって臨む内容となります。ぜひこの折に触れてみて頂ければ幸いです。 店主

#### プロフィール

- 1981年 茨城県土浦にて育つ
- 2007年 茨城県窯業指導所 成形科 修了
- 2009年 茨城県城里町に築窯
- 2017年 現在同地にて制作

#### ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6  
TEL 049-298-8715  
MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分  
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分  
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり] ~ [喜多院前]  
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス] ~ [喜多院]  
車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5~8番)

原田 譲 展 定窯白瓷 恭敬  
はらだ ゆずる ていようほくじ きようけい  
二〇一七年三月四日(土) ~ 十二日(日)  
作家在廊日 三月四日(土)・五日(日) 会期中無休 営業時間 十一時~十八時



定窯写白瓷三足  
径120mm 高さ75mm